

# 2014国民平和大行進NEWS

2014年7月26日（土）第4号

発行：しまね労連 事務局 0852-31-3396

**7月30日までの行進者募集中！是非参加を！**

## 潮流は核兵器のない平和な世界をつくる道筋にある！



【7月25日 斐川町内行進】

7月25日、午前中は、斐川生協病院で出発式をし町内行進と署名行動、午後は、斐川支所訪問と学習会、行進と署名集め、夕方は、出雲市内を行進しました。

斐川支所の訪問では、支所長からペナントを頂き、激励を受けました。

学習会には25名が集まり、島根原水協の西尾幸子さんを講師に招き、西尾さんが女学生時代に広島で体験された、原爆によって多くの同級生を亡くした悲しい出来事をお話していただき、原爆の悲惨さ、戦争の恐ろしさ、平和の尊さについて学びました。

平和行進は残り5日間の県内行進となりました。引き続き行進者を募集しています。

ぜひ行進に参加し、核兵器なくせの世論を上げましょう。

### 行進6日目までの結果

- 参加者延人数 157人
- 署名合計 255筆
- 募金合計 33,723円



西尾さんより原爆の説明と悲惨さをパネルを使って、わかりやすく説明して頂きました。

### 斐川支所長の錦織さんから 激励のあいさつ

広島、長崎に人類史上はじめて原子爆弾が投下され、69年目の夏を迎えようとしています。今日まで、核兵器のない平和な世界を目指して、様々な活動を続けてこられました皆様方の取り組みに対しまして心から敬意を表します。平和を願う心は世界中皆同じであり、昨春秋の国連総会での核軍縮関連決議、そして本年2月の国際会議での議長表明、潮流は核兵器のない平和な世界をつくる道筋であります。現状では、核軍縮へむけてなかなか具体的に踏み出せないところがあります。また、核兵器に限らず、2度と放射能に被爆しないことが私たちの願いでありましたが、東日本大震災によって被爆をうけた福島は今も放射能の影響が残っており、現在もなお14万人もの方々が避難を強いられていることを聞いています。電力不足への対応という名もありますが、安全に不安がある中、原発が再稼働となることに対して、国民からさまざまな意見や行動が起きています。私たちは原発とどう向き合うのか、そしてエネルギーをどう確保していくのか、もっと真剣に議論をしなくてはいけないと考えております。そうしたなか、間もなく今年もまた8月6日と8月9日を迎えます。この国民平和大行進をとおして、皆様方一人一人の平和を願う思いが大きな潮流となって世界に広がっていくことを心より祈念申し上げ、斐川支所を代表してのごあいさつにかえさせていただきます。



【斐川支所にて】



### 本日26日の行進

- 午前 出雲市役所訪問  
出雲市内行進
- 午後 出雲市内行進

### 30日までの日程

- お問い合わせは、しまね労連事務局までしてください。